

令和7年度 自己評価・学校関係者評価報告書

学校法人 淡島学園 木内鳩の家幼稚園

園長 多賀真弓

1. 教育方針「友だちと関わる楽しさや自分自身で目標を見つけ、やりとげていくたくましさを育てる」

2. 教育目標
- 年少
- ・喜んで登園し、保育者に親しみ、友達と関わって楽しく遊ぶ。
 - ・自分の思っていることを伝えられるようにする。
- 年中
- ・園生活の中で自分なりの力を発揮して、色々なことに一生懸命取り組む。
 - ・喜んで登園し色々な遊びや活動に取り組む。
 - ・全身を動かして遊ぶ楽しさを味わい、保育者や友達との関りを深める。
- 年長
- ・園生活を楽しみ色々な活動や遊びに意欲的・創造的に取り組む。
 - ・人との関わりの中で社会生活における必要な習慣や態度を身に付ける。
 - ・物事に積極的に取り組み、最後まで頑張り通す。
 - ・言葉を使って表現する意欲や態度を育て、伝え合う喜びを味わう。

3. 令和6年度の木内鳩の家幼稚園の評価項目

	項目	取り組み	評価
1	幼稚園生活の充実を図る	遊びの充実、園外活動、散歩、クラス活動、行事、園庭	A
2	畑・栽培・自然とのかかわりを深める	野菜の栽培、植物採集、季節の自然	A
3	飼育・動物とのふれあいを大切にする	生き物の観察、生き物の飼育、園庭の虫探し、公園散歩	A
4	保育研修等による保育の質の向上	オンライン研修や夏休み中の終日研修への参加	A
5	幼児に対する理解を深める	幼児期の大切さと育ちを知る	A
6	職員の処遇改善	業務の見直しと改善	

4. 総合的な評価

評価	理由
A	<p>園が子どもたちの主体性を大切にし、自ら考えて行動できる環境づくりに力を注いでいる点が高く評価された。</p> <p>温かく質の高い保育が継続されていること、職員同士の良好なコミュニケーションが子どもたちの伸びやかな生活につながっていることが伝わってくる。</p> <p>園庭や園外での、生き物との関わりを通した命の学び、野菜の栽培・収穫など、日常的な体験を大切にしている保育が充実している点も好意的に評価された。子ども一人ひとりの特性や強みを丁寧に伸ばしてくれているという声も寄せられた。</p> <p>一方で、毎年恒例の日和田山登山が熊の出没により中止となったことは残念に感じられるが、安全を最優先した判断は理解され、代替行事のために場所探しを行うなど、子どもたちの思い出づくりに尽力した先生方の姿勢に深い感謝が示された。</p>

評価 (A 十分に成果があった B 成果があった C 少し成果があった D 成果がなかった)

各委員の評価									
	項目	取り組み	1	2	3	4	5		
1	幼稚園生活の充実を図る	あそびの充実、園外活動、散歩、クラス活動、行事、園庭	A	A	A	A	A		
2	畑・栽培・自然とのかかわりを深める	野菜の栽培、植物採取、季節の自然	A	A	A	A	A		
3	飼育・動物とのふれあいを大切にする	生き物の観察、生き物の飼育、園庭の虫探し、公園散歩	A	A	B	A	A		
4	保育研修等による保育の質の向上	オンライン研修や、夏休み中の終日研修への参加	A	A	A	A	A		
5	幼児に対する理解を深める	幼児期の大切さと育ちを知る	A	A	A	A	A		
6	職員の処遇改善	業務の見直しと改善	A	A	A	A	A		
			与える保育ではなく、子どもたちが自ら考え、環境を整えていく環境を整えています。さまざまな社会情勢が変化している中、これからの子どもたちの主体的な活動が展開されていきます。				毎年行われている日和田山遠足（年長）が熊出没により中止になってしまいましたが、とても残念ですが命の安全を考えれば適切な判断だったと思います。来年度以降、山登りを行うことが難しい状況かと思いますが、みんなですべての目標を達成するということを経験ができて行事を続けていただきます。全学年、園庭や畑で野菜を育てて収穫して食べる活動をしており、食育活動が充実しています。		
			職員の働き方改革を行うとして、子ども園に変わっても、職員と園児の関わりに変化は見られず、職員同士も笑顔でコミュニケーションをとって生活が行われていると感じる。広い園庭で緑が多く、きれいに整えられている。生き物との関わりも園児がみつづける昆虫、モルモットなどの動物も”命を扱うもの”として飼育方法やお世話を園児とともに調べ関わりをもてるよう”幼児”に合わせた指導をしている。また例年では年長は”山登り”のイベントがあったが、熊被害が今年度多くあったため中止となった。残念に思う保護者もおおむね、”安全”をとったこと、変わりのイベントを提供するなどの、保護者や園児に心身にむきあい対応している、評価をすにあたりとてもよかったです。				子ども一人ひとりの特性や強みを伸ばしてくださっていると思います。	日和田山登山を楽しむにしていたので中止となりましたが、代替えの為に場所を雨の中先生方が出かけたことを子どもから聞き、頭が下がらないでした。やむを得ない事情による中止にも関わらず、子どもたちの思い出し、子どもたちがいき、ありがとうございます。	日和田山登山を楽しむにしていたので中止となりましたが、代替えの為に場所を雨の中先生方が出かけたことを子どもから聞き、頭が下がらないでした。やむを得ない事情による中止にも関わらず、子どもたちの思い出し、子どもたちがいき、ありがとうございます。

各委員の感想・意見

学校評価に関する資料

1. 幼稚園生活の充実を図る 実施内容

園庭整備から1年経過して環境が整ってきた。オシロイバナで遊んだりや庭の虫探しができるようになるなど自然環境が豊かになった。また、キンカン、ジュンベリー、姫リソゴなどの木の実を楽しんだり、ヤマモモを採って食べたりジャムにして味わった。

年少では近隣公園への散歩、年中では電車に乗る経験を、年長では遠方まで公共交通機関を利用した園外活動を計画実施し、体力・脚力を育んだ。また、日々の生活では、食べる活動、竹馬、お店屋さんごっこ、劇ごっこ、ガラクタ工作など、子どもの興味関心に合わせながら、ワクワクして取り組めるようクラス活動に取り組んだ。遊びながら子ども自身が主体的に取り組めるように保育をすすめ、集団生活のなかで生活習慣の自立や友だちとの関わりを学んでいった。行事では、運動会・お泊り会・芋ほり遠足・竹馬認定式など予定通りに行った。当日までのプロセスや経験を大切にしながら、子どもの体験を深めていった。一方で日和田山遠足はクマ出没のニュースを受け、安全面を配慮して中止とした。

2. 畑・栽培・自然とのかかわりを深める実施内容

園庭、畑を利用して野菜や花を園児たちが育てた。年長は食べられる野菜（茄子、ピーマン等）は、収穫した後子どもたちが中心となって先生の指導の下調理を行い、給食時に食べるという食育を行った。園外保育で訪れた公園で虫を見つけたり、咲いている植物等の観察を行った。

年中では秋の芋堀遠足に向けて、自分たちもプランターで芋を育てて、成長の観察を行った。また、実際に広い畑に行き、農家の方の育てた芋を掘り、大きさや量にびっくりし、それを自宅に持って帰って食べたり、他の園児たちにふかし芋にしてふるまうことを行った。

年少ではニラや朝顔を育てたり、公園でどんぐりを拾ってきた。ニラは餃子にして食べた。育てることを通じて、食べ物大切さ、楽しさ、自然について学ぶことができるようになった。

3. 飼育・動物とのふれあいを大切にする 実施内容

亀、モルモット、うさぎを飼育している。動物のお世話は園児が当番制で行っており、日々生き物の変化を観察し、命について学ぶ機会を設けている。4月にはモルモットが息を引き取り年長が心を込めて埋葬した。また、昆虫等観察も行っており、園外で出かけた公園、または園庭等で観察を行っている。11月に新たにうさぎ一兔を迎えて、お世話して可愛がっている。

4. 保育研修等による保育の質の向上

充実した幼児教育の提供には、職員 1 人 1 人のスキルアップが重要となる。またスキルアップをすることによって、さらなる向上心が芽生えて、それが良い循環となって、子どもたちに恩恵が注がれるようになる。このため、積極的に研修等を行い、特に外での研修に関してはできるだけ参加できるように情報提供を行っている。

1) 園内研修

- ①6/10 コミュニケーションスキル&セルフケア
- ②7/9 防犯訓練「不審者訓練」(滝野川消防署)
- ③9/2 劇団風の子表現ワークショップ
- ④11/25 メンタルヘルス研修

2) 外部研修

- ・全日私幼連東京地区教育研究大会
- ・幼児教育実践学会(全日本私立幼稚園幼児教育機構)
- ・新規採用教員夏期研修会・中堅教諭研修会(東京都私立幼稚園教育研修会)
- ・園長主幹研修会・教諭研修会・新規採用研修会(東京都私立幼稚園教育研修会)
- ・ECEQ 公開保育参加(6月11月12月) 他

5. 幼児に対する理解を深める

各種講演会などの情報を掲示するほか、園内での開催をして子育ての理解を深める。
子育て講演会「チャレンジを見守るまなざし」
ぱくぱく広場(年3回)・ぽっぽの会(年3回)・PTA 連合会講演会(年2回)その他

6. 職員の処遇改善

園全体の行事や仕事の分担を明確にして、職員一人一人の負担を減らすようにしている。

- ・処遇改善加算や宿舍借り上げ制度により賃金改善を行っている。
- ・子育て中も働きやすい環境であると同時に、職員間での公平さを考慮して休暇の見直しを行った。
- ・今年度は予期せぬ事態により、遠方への遠足下見が増加した。
- ・職員交流として、定期的に食事会を開催して職員間のコミュニケーションを深める。